

はじめに

1 本書の目的

土づくりは健全な農作物を育成するために欠かすことのできない基礎事項であり、適正な土づくりの実施は、環境にこだわった「しがエコ農業」の推進に不可欠な要素である。

このため、本書では土づくりの基本的な解説にとどまらず、新しい技術や多くの関連資料を掲載するよう心がけた。本県における土づくりの技術指導マニュアルとして、しがエコ農業に推進に活用されたい。

2 本書の利用に当たって

- 1) 本書はⅠ～Ⅳ章の構成となっている。Ⅰ章は本県土壌の基本的特性についてまとめ、Ⅱ章は総論、Ⅲ章は各論としてそれぞれ具体的な技術対策の解説を行った。また、Ⅳ章は土づくりに関連するさまざまな参考資料を掲載した。
- 2) Ⅳ章の参考資料で掲載した施肥基準はあくまで目安であり適正値はほ場毎に異なる。このため、土壌診断結果や環境への影響を勘案し利用されたい。このためには、今回の改訂で新たにデータを掲載した「農耕地土壌管理システム」を活用することが必要である。
- 3) 実際の土づくり指導に際しては、本指針を基本とし、下記の技術資料などを参考としながらそれぞれの地域に即した指導を行うことが必要である。

関連する技術資料など

- ・土壌・作物体および水質分析の手引き（滋賀県 平成7年3月）
- ・滋賀県農耕地土壌管理システム（滋賀県 平成12年2月）

平成13年3月

滋賀県農政水産部農産流通課

土づくり技術対策指針 目次

はじめに

本県の農耕地土壌図

I 本県耕地土壌の分布

1. 概況	1
2. 土壌の種類と分布	2
3. 土壌生産力特性と土壌改良	7

II 土づくり技術対策～総論～

1. 土づくりの基本的な考え方	1 5
2. 土壌改良に使われる主な資材	1 9
3. 深耕	3 8
4. 排水対策	3 8
5. 土づくりの機械作業	4 4
6. 地力増進作物の作付け	5 2

III 土づくり技術対策～各論～

1. 水田	5 7
2. 輪換田	7 7
3. 普通畑	8 6
4. 施設土壌	8 8
5. 果樹園	9 8
6. 茶園	1 0 5
7. 草地・飼料畑	1 0 9

IV 参考資料

1. 土づくり関係資材等の成分組成	1 1 3
2. 主要作物の施肥量及び養分吸収量	1 2 1
3. たい肥の作り方	1 2 1
4. 土壌診断システム	1 2 9
5. 有機物施用と温室効果ガスの発生	1 3 2
6. 汚泥肥料	1 3 4
7. 作物の種類とpHの好適範囲	1 3 9
8. 作物に欠乏症または過剰症のする各要素の土壌中含有量	1 4 2
9. 水稻・野菜類の葉中要素含量の欠乏、適量、過剰の判定基準	1 4 3
10. 施肥基準	1 4 5
11. 有機農産物の日本農林規格	1 5 7

索引	1 6 1
----	-------